

## 令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	『世界史A』（実教出版社）						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）、『世界史A演習ノート』（実教出版社）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現代の日本や私たち自身について考える。

## 2 学習の到達目標

- ・諸史料・資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・現代の諸課題について近現代史を中心とする歴史と結びつけて考察することができる。
- ・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:史料・資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会で主体的に生き、国家・社会を形成する日本に生きる者としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価 方法	・ノートの記事内容 ・ワークシート （課題）等の内容と提出状況 ・授業態度など	・授業の取り組み ・ワークシート （課題）等の内容と提出状況 ・定期考査	・授業の取り組み ・ワークシート （課題）等の内容と提出状況 ・定期考査	・授業の取り組み ・ワークシート （課題）等の内容と提出状況 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

#### 4 学習活動

学 期	単元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユー ラシ アの 諸文 明と 交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文明のはじまり</li> <li>・東アジア・内陸アジア世界</li> <li>・南アジア世界</li> <li>・西アジア世界</li> <li>・ヨーロッパ世界</li> <li>・海と陸の交流</li> <li>・モンゴル帝国と東西の交流</li> <li>・ヨーロッパ商業圏と東アジア海域の発展</li> </ul>	○		○	○	<p>a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:ユーラシア諸文明の交流の特質を見出し、地域世界相互の文化変容などと関連つけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:必要な諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などに表現したりしている。</p> <p>d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート(課題)等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
2学期	むす びつ く世 界と 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大航海時代</li> <li>・ルネサンスと宗教改革</li> <li>・絶対主義とイギリス革命</li> <li>・オスマン帝国の成立</li> <li>・明と東アジア</li> <li>・世界経済体制の形成</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:設定された時代の諸地域の特質を見出し、世界商業の進展などに関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:設定された時代に関する諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート(課題)等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	近 代 の ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ と 世 界 の 変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命</li> <li>・アメリカ独立戦争</li> <li>・フランス革命とナポレオン</li> <li>・ウィーン体制とその崩壊</li> <li>・ヨーロッパ国民国家の発展</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見だし、19 世紀の世界の一体化と関連づけて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連づけて理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート(課題)等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>

2学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動</li> <li>・東アジアの変容と日本の近代化</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a：近代化したヨーロッパ世界との接触後に起きたアジア諸国の変貌について感心を高め、意欲的に追求しようとしている。</p> <p>b：地域ごとに現れた対応の違いの原因やその意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c：諸民族の自覚や欧米による植民地化の過程について諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>d：基本的な事柄や事象についての理解を深め、知識を身に着けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・激変する社会と帝国主義</li> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・戦間期</li> <li>・民族運動の高まり</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:19世紀末から20世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:20世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:20世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:20世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格について基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連づけて理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・ワークシート（課題）等の内容と提出状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>

3学期	地 球 社 会 と 日 本	・米ソ冷戦 ・アジア・アフリカ 諸国の独立 ・多極化の進展と冷 戦体制の崩壊	○	○	○	○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く 課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・ 経済の動向と関連づけて、多面的・多角的に考察し、その 過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題に関する諸史料・ 資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表 などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事 柄を、世界の政治・経済の動向と関連づけて理解し、その知 識を身につけている。	・授業の取り組 み ・ワークシー ト（課題） 等の内容と 提出状況 ・定期考査
	持 続 可 能 な 世 界 を め ざ して	・現代世界の動き ・人が人らしく生き るために	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、近代史を中心とする歴史と結びつけ、 歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ、 歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ、 歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたり している。 d:現代の諸課題に関する知識を身につけている。	・授業の取り組 み ・ワークシー ト（課題） 等の内容と 提出状況 ・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解 である。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重みづけを行う観点）について○を付けている。